

## 山形県外来医療計画（村山版素案）の第 2 回修正案

太書き下線が修正箇所

## 村山二次医療圏

## （１）外来医師偏在指数について

- 外来医師偏在指数 102.1

## （２）新規開業者への提供情報について

- 別添 1 のとおり

※別添1は「医療施設の所在地マップ」や「外来医療に係るデータ」等の資料で、調製中です。

（３）初期救急（休日夜間診療）、在宅医療及び公衆衛生のうち、不足する外来医療機能について

地域名	不足する外来機能
東南村山	① 初期救急 ② 在宅医療 ③ 警察医への協力等の公衆衛生
西村山	① 初期救急 ② 在宅医療 ③ 学校医、産業医等の公衆衛生
北村山	① 初期救急 ② 在宅医療 ③ 学校医、産業医等の公衆衛生

## ① 初期救急（休日夜間診療）

## 《現状と課題》

- 東南村山地域においては、山形市医師会が山形市休日夜間診療所（休日歯科診療所）を開設し、小児も含めた休日、夜間の体制が整備されています。
- 西村山地域においては、休日昼間は在宅当番医制、平日夜間は地区医師会のサポートにより、県立河北病院内で小児も含め診療していますが、休日夜間の体制は未整備となっています。
- 北村山地域においては、休日診療所で小児も含め診療しています。夜間の体制は未整備となっており、北村山公立病院が対応しています。

## 村山地域の初期救急医療体制

地域	休日昼間	夜間
東南村山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山形市 山形市休日夜間診療所（小児科含む）</li> <li>・上山市 在宅当番医</li> <li>・天童市 在宅当番医</li> <li>・山辺町 在宅当番医</li> <li>・中山町 在宅当番医</li> </ul> ※救急告示病院の救急外来（13 施設）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山形市 山形市休日夜間診療所（小児科含む）</li> <li>・上山市（平日夜間） 在宅当番医</li> <li>・上山市（休日夜間）、天童市、山辺町、中山町については、山形市休日夜間診療所でカバー</li> </ul> ※救急告示病院の救急外来（13 施設）
西村山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒河江市（西川町、大江町） 在宅当番医（小児科含む）</li> <li>・河北町 在宅当番医（小児科含む）</li> <li>・朝日町 在宅当番医（小児科含む）</li> </ul> ※救急告示病院の救急外来（4 施設） 県立河北病院、寒河江市立病院、西川町立病院、朝日町立病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立河北病院 平日夜間、医師会協力医サポート体制（小児科含む）</li> </ul> <b>【休日夜間体制 未整備】</b> ※救急告示病院の救急外来（4 施設） 県立河北病院、寒河江市立病院、西川町立病院、朝日町立病院
北村山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村山市 村山市休日診療所（小児科含む）</li> <li>・東根市 東根市休日診療所（小児科含む）</li> <li>・尾花沢市 在宅当番医（小児科含む）</li> <li>・大石田町 在宅当番医（小児科含む）</li> </ul> ※救急告示病院の救急外来（1 施設） 北村山公立病院 小児科については、小児科医師が土・日（祝日を含む）8:30～17:15 対応	<b>【休日・平日夜間体制 未整備】</b> ※救急告示病院の救急外来（1 施設） 北村山公立病院 小児科については、小児科医師が月～水（祝日を含まない）17:15～19:15 対応

資料：村山保健所調べ（平成 31 年 4 月 1 日現在）

- 村山地域の時間外等外来患者数については、診療所は平成 26 年度の 36,919 人から、平成 30 年度の 35,601 人とやや減少しています。また、病院は平成 26 年度の 71,043 人から平成 30 年度の 61,355 人へ減少している状況です。

## 村山地域の休日・夜間の救急医療機関受診者数

項 目	H26	H27	H28	H29	H30
休日・夜間診療所受診者数	36,919 人	34,471 人	35,886 人	35,488 人	35,601 人
救急告示病院受診者数（二次・三次救急医療機関）	71,043 人	68,614 人	64,725 人	61,206 人	61,355 人

資料：休日・夜間診療所受診者数：村山保健所調べ、救急告示病院受診者数：県地域医療対策課調べ

## ② 在宅医療

### 《現状と課題》

- 平成 29 年度の人口 10 万人当たり訪問診療患者延数について、村山地域は診療所、病院ともに全国値よりも少なくなっています。県内で村山地域は、診療所（807.2 人）は、庄内地域（861.1 人）に次いで多く、病院（33.4 人）は最も少ない状況です。
- 平成 29 年度の人口 10 万人当たりの往診患者延数について、村山地域は診療所では全国値を上回っていますが、病院では全国値を下回っています。県内で村山地域は、診療所（213.4 人）は、庄内地域（330.5 人）に次いで多い状況です。
- 医療現場では、「訪問診療や往診をしている医師は相当数いるものの、在宅医療の需要に応じるには不足」との認識です。

### 人口 10 万人当たり訪問診療・往診診療患者延数（診療所、病院）（平成 29 年度）

項 目	人口 10 万人当たり 訪問診療患者延数（月平均算定回数）		人口 10 万人当たり 往診患者延数（月平均算定回数）	
	診療所	病院	診療所	病院
全国	990.5 人	131.0 人	155.9 人	10.7 人
山形県	718.8 人	71.2 人	220.7 人	6.2 人
村山地域	807.2 人	33.4 人	213.4 人	6.9 人
最上地域	287.9 人	75.0 人	29.4 人	*
置賜地域	458.8 人	127.7 人	165.0 人	*
庄内地域	861.1 人	101.9 人	330.5 人	5.9 人

資料：NDB（レセプト情報・特定健診等情報データベース）・住民基本台帳 H30.1.1 現在

\*印は厚生労働省の提供データがないため算定できない。

- 平成 29 年度の人口 10 万人当たりの訪問診療医療施設数について、村山地域は診療所では全国値を上回り、病院では全国値を下回っています。県内で

は、診療所（19.3 箇所）は、庄内地域（22.6 箇所）に次いで多く、病院（1.5 箇所）は置賜地域（3.7 箇所）の約 4 割となっています。

- 平成 29 年度の人口 10 万人当たりの往診医療施設数について、診療所（21.4 箇所）は、庄内地域（26.0 箇所）、置賜地域（22.1 箇所）に次ぐものとなっています。

#### 人口 10 万人当たり訪問診療・往診診療施設数（診療所、病院）（平成 29 年度）

項 目	人口 10 万人当たり 訪問診療施設数（月平均施設数）		人口 10 万人当たり 往診医療施設数（月平均施設数）	
	診療所	病院	診療所	病院
全国	16.8 箇所	2.4 箇所	16.7 箇所	1.5 箇所
山形県	19.3 箇所	2.3 箇所	21.9 箇所	1.9 箇所
村山地域	19.3 箇所	1.5 箇所	21.4 箇所	1.6 箇所
最上地域	12.9 箇所	＊	10.3 箇所	＊
置賜地域	17.5 箇所	3.7 箇所	22.1 箇所	＊
庄内地域	22.6 箇所	＊	26.0 箇所	2.3 箇所

資料：NDB（レセプト情報・特定健診等情報データベース）・住民基本台帳 H30.1.1 現在

＊印は厚生労働省の提供データがないため算定できない。

- 訪問看護ステーションとの連携は在宅療養支援診療所を中心に、他の関係機関との連携に比べ比較的多くの医療機関で取り組まれています。リハビリ職種と連携した訪問リハビリや薬局への訪問薬剤管理指導依頼などの連携は低い傾向があります。
- 村山地域においては、山形市医師会の医師が中心となって立ち上げた「山形在宅ケア研究会」や山形大学医学部看護学科が中心となって立ち上げた「やまがた在宅ケアかんごねっと」、県立中央病院が中心となって立ち上げた「村山緩和ケア研究会」等が、医療・介護の連携や在宅医療における多職種連携の推進及び医療・介護関係者等の支援の質の向上を目指した自主的な活動を

展開しており、これらの活動の継続とさらなる活性化が必要です。

### 関係機関と連携している医療機関数（二次医療圏ごとの総数）

項目	緊急時の入院先病床確保	往診、看取り等を行う医師確保	訪問看護ステーションへの訪問看護指示	歯科診療所と連携し口腔ケア等	薬局へ訪問薬剤管理指導依頼	リハビリ職種と連携し訪問リハビリ	介護施設と連携し施設で看取り
山形県	41%	17%	84%	10%	30%	44%	36%
村山	31%	11%	82%	9%	23%	40%	35%
最上	45%	0%	55%	9%	36%	36%	64%
置賜	61%	19%	86%	12%	35%	49%	32%
庄内	43%	28%	89%	10%	35%	46%	37%

資料 山形県在宅医療実態調査（平成 30 年 3 月 山形県、山形県医師会）

県全体（n=281 内訳：病院 30、在宅療養支援診療所 73、在宅療養支援診療所以外の診療所 178）

村山（n=131 内訳：病院 9、在宅療養支援診療所 26、在宅療養支援診療所以外の診療所 96）

最上（n=11 内訳：病院 3、在宅療養支援診療所 3、在宅療養支援診療所以外の診療所 5）

置賜（n=57 内訳：病院 12、在宅療養支援診療所 15、在宅療養支援診療所以外の診療所 30）

庄内（n=82 内訳：病院 6、在宅療養支援診療所 29、在宅療養支援診療所以外の診療所 47）

### ③ 公衆衛生

#### 《現状と課題》

- 医師数に着目してみると、村山地域の医師数は、平成 24 年 12 月末現在の 1,579 人から、平成 28 年 12 月末現在の 1,574 人へ減少しています。また平成 28 年 12 月現在の人口 10 万人当たり医師数（287.0 人）は全国値を上回っていますが、西村山（144.0 人）、北村山（105.5 人）と地域による偏りが顕著となっています。

#### 医師数及び人口 10 万対医師数（各年 12 月 31 日現在）

項目	平成 24 年		平成 26 年		平成 28 年	
	医師数	人口 10 万対医師数	医師数	人口 10 万対医師数	医師数	人口 10 万対医師数
全国	303,268 人	237.8 人	311,205 人	244.9 人	319,480 人	251.7 人
山形県	2,598 人	225.5 人	2,606 人	230.4 人	2,597 人	233.3 人
村山地域	1,579 人	282.5 人	1,577 人	285.2 人	1,574 人	287.0 人
最上地域	113 人	138.2 人	109 人	137.7 人	105 人	137.5 人
置賜地域	393 人	176.4 人	380 人	175.0 人	382 人	180.1 人
庄内地域	513 人	177.9 人	540 人	191.8 人	536 人	194.1 人

項 目	平成 24 年		平成 26 年		平成 28 年	
	医師数	人口 10 万 対医師数	医師数	人口 10 万 対医師数	医師数	人口 10 万 対医師数
東南村山	1,343 人	357.3 人	1,362 人	364.8 人	1,357 人	364.7 人
山形市	<u>1,182 人</u>	<u>465.0 人</u>	<u>1,206 人</u>	<u>476.0 人</u>	<u>1,200 人</u>	<u>473.8 人</u>
上山市、天童市、 山辺町、中山町	<u>161 人</u>	<u>132.3 人</u>	<u>156 人</u>	<u>130.0 人</u>	<u>157 人</u>	<u>132.1 人</u>
西村山	130 人	154.9 人	121 人	147.1 人	116 人	144.0 人
北村山	106 人	107.1 人	94 人	96.6 人	101 人	105.5 人

資料：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」

- 平成 28 年の村山地域の診療所の年齢階級別医師数割合は、60 歳以上の割合（51％）は、全国値（47％）を上回っており、県内では他 3 地域と比べて最も低い状況です。

#### 診療所の年齢階級別医師数割合（平成 28 年 12 月 31 日現在）

項 目	全国	山形県	村山地域	最上地域	置賜地域	庄内地域
～59 歳	53%	46%	49%	46%	41%	41%
60 歳～	47%	54%	51%	54%	59%	59%

資料：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」

- 令和元年度の村山地域における学校医（県立学校）1 人当たりの学校数（0.4 箇所）は置賜地域、庄内地域と同じ状況であり、学校医（県立学校）1 人当たりの生徒数（119 人）は、最も少ない状況です。

#### 県立学校の学校医の配置状況（平成 31 年 4 月 1 日現在）

項 目	山形県	村山地域	最上地域	置賜地域	庄内地域
学校医数	170 人	85 人	11 人	35 人	39 人
学校医 1 人当たり 学校数	0.4 箇所	0.4 箇所	0.6 箇所	0.4 箇所	0.4 箇所
学校医 1 人当たり 生徒数	128.3 人	119.0 人	146.6 人	126.4 人	145.4 人

項 目	東南村山			西村山	北村山
	計	山形市	上山市、天童市、 山辺町、中山町		
学校医数	62 人	<u>37 人</u>	<u>25 人</u>	10 人	13 人
学校医 1 人当たり 学校数	0.3 箇所	<u>0.3 箇所</u>	<u>0.3 箇所</u>	0.4 箇所	0.5 箇所
学校医 1 人当たり 生徒数	109.1 人	<u>132.6 人</u>	<u>74.4 人</u>	152.6 人	140.0 人

資料：県スポーツ保健課調べ ※生徒数は平成 30 年度、内科、眼科、耳鼻科、精神科、  
整形外科含む

- 令和元年度の村山地域における学校医（市町立学校）1 人当たり学校数は  
0.7 校、学校医（内科、眼科、耳鼻科の合計）1 人当たりの児童・生徒数は、  
182.1 人となっています。

地区別には、学校医（内科、眼科、耳鼻科の合計）1 人当たりの児童・生徒  
数は、東南村山（198.6 人）が最も多く、西村山（133.0 人）の 1.5 倍となっ  
ています。

また、眼科及び耳鼻科の学校医は、内科の学校医に比べて人数が少ないの  
で、一人当たりの学校数や児童・生徒数が内科の学校医よりも多くなってい  
ます。

診療科ごとに見ると、学校医（内科）1 人当たりの児童・生徒数は、東南村  
山（332.5 人）が最も多く、西村山（216.7 人）の 1.5 倍となっています。

学校医（眼科）1 人当たりの児童・生徒数は、北村山（1,744.5 人）が最も多  
く、西村山（835.9 人）の 2.1 倍となっています。

学校医（耳鼻科）1 人当たりの児童・生徒数は、北村山（1,395.6 人）が最  
も多く、西村山（585.1 人）の 2.4 倍となっています。

# 市町立学校の学校医の配置状況（令和元年５月１日現在）

		村山 地域	東南村山			西村山	北村山
			計	山形市	上山市、天童市、 山辺町、中山町		
学校医数 (人)	内 科	140	83	<u>49</u>	<u>34</u>	27	30
	眼 科	36	28	<u>17</u>	<u>11</u>	7	4
	耳鼻科	39	28	<u>18</u>	<u>10</u>	10	5
	計	222	139	<u>84</u>	<u>55</u>	44	39
学校医１人 当たりの学 校数 (校)	内 科	1.1	1.0	<u>1.1</u>	<u>0.9</u>	1.2	1.2
	眼 科	3.9	3.0	<u>3.1</u>	<u>2.9</u>	4.3	9.0
	耳鼻科	3.6	3.0	<u>2.9</u>	<u>3.2</u>	3.1	7.2
	計	0.7	0.6	<u>0.6</u>	<u>0.6</u>	0.7	0.9
学校医１人 当たりの児 童・生徒数 (人)	内 科	288.8	332.5	<u>387.2</u>	<u>253.8</u>	216.7	232.6
	眼 科	1,036.7	985.8	<u>1,116.0</u>	<u>784.5</u>	835.9	1,744.5
	耳鼻科	940.2	985.8	<u>1,054.0</u>	<u>862.9</u>	585.1	1,395.6
	計	182.1	198.6	<u>225.9</u>	<u>156.9</u>	133.0	178.9

資料：村山保健所調べ

学校数及び児童・生徒数は、山形県学校名鑑（令和元年５月１日現在）による。

学校医数のうち、村山市、尾花沢市及び大石田町の眼科及び耳鼻科については、検診を行う医師数（学校医の委嘱は行われていない。）

○ 令和元年度の村山地域における産業医１人当たりの事業所数（3.4 箇所）

は庄内地域（3.1 箇所）に次いで少なく、産業医１人当たりの従業員数（429.7 人）は、県内で最も多い状況です。

○ 医療現場では「産業医は日本医師会の認定制度があり、資格取得者は増えているが、まだ不足」との認識です。

## 認定産業医数及び産業医嘱託契約状況

項 目	山形県	村山地域	最上地域	置賜地域	庄内地域
認定産業医数	522 人	285 人	29 人	88 人	120 人
事業所と契約している産業医数	381 人	188 人	18 人	78 人	97 人
産業医１人当たり事業所（50人以上）数	3.3 箇所	3.4 箇所	4.0 箇所	3.5 箇所	3.1 箇所
産業医１人当たり従業者（50人以上事業所）数	400.7 人	429.7 人	357.8 人	381.8 人	367.8 人



項 目	東南村山			西村山	北村山
	計	山形市	上山市、天童市、 山辺町、中山町		
認定産業医数	211 人	<u>156 人</u>	<u>55 人</u>	40 人	34 人
事業所と契約している 産業医数	140 人	<u>104 人</u>	<u>36 人</u>	31 人	17 人
産業医 1 人当たり 事業所（50 人以上）数	3.3 箇所	<u>3.2 箇所</u>	<u>3.4 箇所</u>	2.7 箇所	5.5 箇所
産業医 1 人当たり従業者 （50 人以上事業所）数	410.0 人	<u>399.0 人</u>	<u>441.7 人</u>	319.5 人	793.1 人

資料：山形県医師会調べ（令和元年 11 月現在）

「産業医 1 人当たり事業所（50 人以上）数」及び「産業医 1 人当たり従業者（50 人以上事業所）数」は、経済センサス-活動調査（平成 28 年 6 月 1 日現在）における事業所数及び従業者数を、「事業所と契約している産業医数」で除したものの。

○ 村山地域における警察協力医の 1 人当たりの件数は、年 30 件前後で推移し  
県平均とほぼ同様の数値となっているものの、東南村山については県平均よりも高い状況となっています。

○ 警察協力医は、協力医の高齢化による担い手不足や、特定の医師に依頼が集中し負担が大きい、など指摘されています。

※『死因究明等推進基本法（令和元年 6 月 12 日公布、令和 2 年 4 月 1 日施行）』

により、国及び地方公共団体は、「死因究明等に係る医師、歯科医師等の人材の育成、資質の向上、適切な処遇の確保等」の施策を講ずるものとされています。

山形県では、山形県死因究明等推進協議会を設置（平成 30 年 5 月 17 日）し、山形県における死因究明等に係る各種事業を推進させるとともに、その方策等について協議することとしています。

#### 警察協力医の検案実施状況

項 目		山 形 県	村山地域	最上地域	置賜地域	庄内地域
警察協力医数		27 人	12 人	1 人	8 人	6 人
1 人 当たり 件数	平成 29 年	31.6 件	31.2 件	74.0 件	21.1 件	39.2 件
	平成 30 年	29.3 件	30.9 件	73.0 件	16.6 件	35.8 件
	令和元年	28.6 件	29.8 件	49.0 件	15.0 件	40.8 件

項 目		東南村山			西村山	北村山
		計	山形市、山辺町、中山町	上山市 天童市		
警察協力医数		6 人	3 人	3 人	3 人	3 人
1 人 当たり 件数	平成 29 年	38.5 件	59.7 件	17.3 件	16.7 件	31.0 件
	平成 30 年	41.3 件	59.0 件	23.7 件	20.3 件	20.7 件
	令和元年	37.3 件	55.3 件	19.3 件	20.7 件	24.0 件

資料：山形県警察本部調べ

#### （４）（３）を確保するための方法について

- 県（村山保健所）、各市町、各医師会、各医療機関等の関係機関は、村山地域医療構想調整会議における継続的な協議を通して、地域の医療機関の外来医療における役割分担や連携等、地域における課題を共有します。
- 村山地域医療構想調整会議において議論を行い、各医療機関が不足する外来医療機能の確保に努めることを促します。

#### （５）医療機器の効率的な活用に向けた取組みについて

- ①医療機器の配置状況等に関する情報は別添２のとおりです。  
※別添２は「医療機器保有施設の所在地マップ」や「医療機器台数」等の資料で、調製中です。
- ②共同利用の方針は次のとおりとします。

村山二次医療圏内の医療機関がＣＴ、ＭＲＩ、ＰＥＴ、放射線治療機器（リニアック及びガンマナイフ）及びマンモグラフィを新規購入又は更新する場合には、共同利用計画書（様式１）を県に提出するものとします。

#### （６）外来医療計画に関する協議の場について

村山二次医療圏の外来医療計画については、村山地域医療構想調整会議または同会議病床機能調整ワーキングにおいて協議するものとします。

また、その協議概要については県ホームページにおいて公表することとします。

様式 1

共同利用計画書

申請医療機関 住所 \_\_\_\_\_

名称 \_\_\_\_\_

代表者 \_\_\_\_\_

☐ 共同利用を行う

- ・ 共同利用の対象とする医療機器

\_\_\_\_\_

- ・ 共同利用の対象先である医療機関

\_\_\_\_\_

- ・ 保守・整備等の実施に関する方針

\_\_\_\_\_

- ・ 画像情報及び画像診断情報の提供に関する方針

\_\_\_\_\_

☐ 共同利用を行わない

- ・ 理由

( )

以上